校友と夜を徹して議論
五四歳から学び定年後役立つ
校友紹介シリーズ⑩ 法卒 菅原 邦介

先輩に背中を押され入学

私は、平成六年に法学部に編入学をしました。年齢は五四歳で定年後のことをそろそろ考える時期だとの思いがありました。日立製作所に入社し、電気機関車やエレベーターの原価計算など経理関係の仕事を三〇余年間続けてきました。何か別の分野も学びたいと思っていたときに慶応大学の通信教育を学んでいた職場の先輩に背中を押されたのが入学の動機です。先輩とは違う大学で学びたいと思い日本大学を選びました。村山連立内閣が発足した年でした。

スクーリングの思い出

スクーリングで先生の授業を受けたいとの思いが強く夏季、東京及び地方スクーリングには会社の年休を有効活用し極力出席しました。地方スクーリングでは那須塩原町の塩原研修所へは良く行きました。また、不得意の英語の単位がなかなかとれず、最後は名古屋で漸く合格（成績C）したことも懐かしい思い出です。夏季スクーリングでは受験した民法（債権総論）の試験で自慢になりますが、私一人だけが満点ということで、講師の阿部眞一弁護士から手紙と直筆サイン入りの著書を贈呈されたことは誇らしく感激でした。

どの教室でも常に年齢は高い方だったので、纏めとか当番とかを優先してさせられたこともいい経験です。そして「先生おはようございます」と校友から先生と間違えられて挨拶されたことも何回かありました。校友と共に学び、ときに夜を徹して議論したことは再度学生に戻った気持ちでとても貴重な体験をし、充実した日々を過ごしました。

そして、平成一〇年、本来二年の予定が四年かけて卒業することが出来ました。年齢は五八歳になっていました。

定年後は

ひたちなか市にあるソフト開発・人材派遣業の会社で働いています。法学部で学んだことは、法的なルールと倫理に基づいて問題を解決していくため基本的な知識、学んで得た思考力で条文や制度への解決、アプローチ等会社法務で役立っています。就業規則作成、株主総会等の業務に関し、労働基準法、会社法などの関係条文に容易に辿り着くことができ、感謝しております。

「早起き会」に毎朝参加

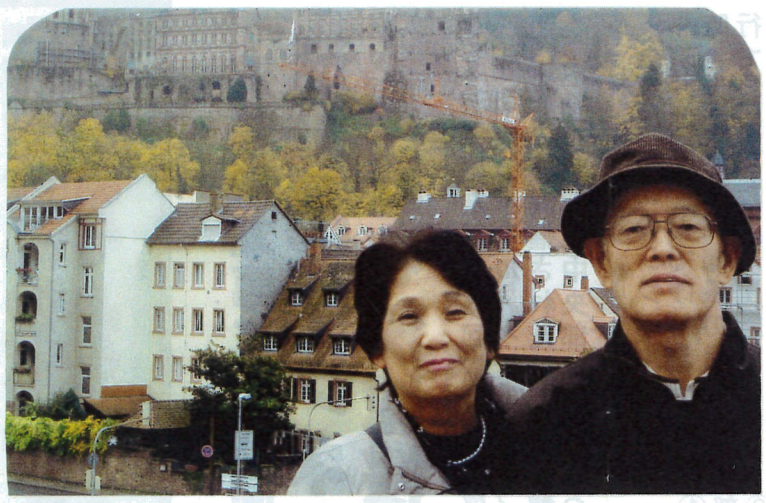
私ごとでは、朝五時からの「朝起き会」に毎朝通っています。これは「家庭倫理の会」といい、生涯学習を推進する民間の社会教育団体で私にとって学ぶことが多く、また、早寝早起きで体調も良くなり、自分の信念に合致するので続けています。

毎日を明るく、朗らかに、喜んで働くことを心がけ過ごしております。

校友にひと言

私は、五〇代で入学し卒業しました。夢・志・希望をもって入学した若い皆さん、資格取得に限らず、各々の目標達成のために自分を信じ行動してください。なお、困ったこと、相談ごとがありましたら、まず茨城桜友会まで。

平成一〇年法学 菅原 邦介



⇒ドイツにて 卒業記念に妻とヨーロッパ旅行

私の趣味 趣味の変遷 今カラオケ 新曲覚えてボケ防止

法卒 井上洋

年代で変る趣味

良い趣味とは年をとっても余暇を楽しみながら自己啓発でき、更に健康増進になれば最善と思っています。

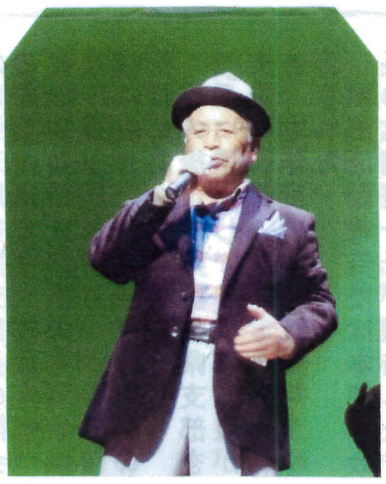
二〇代前半はパチンコやマージャンに無我夢中でした。遊びと趣味が区別できず不健康な余暇時間を過ごしました。また、費用の掛かる遊びごとは善い趣味でないことを悟りました。

その後、三〇代では油絵や、陶芸、骨董品収集、四〇代カメラ撮影。五〇代になって付き合いゴルフを始め、退職後はご無沙汰しています。カメラ撮影は最近デジタルカメラ時代になり興味がうすれました。生涯の趣味がないことに気がつきました。

発表会や大会に出場

七〇代になってやっと辿りついたのが、カラオケ。月に一曲以上はボケ防止に新曲を覚え仲間と唄っています。

カラオケ大会や発表会に出るように心がけています。衣装を鏡の前で着たり脱いだりして女房に笑われています。日頃も本番の気持ちで、緊張感を持って歌っています。余生の趣味として当面はカラオケで楽しんで生きたいです。



⇒チャリティ発表会ひたちなか市文化会館大ホールにて 昭和五六年法学 井上洋

私たちの町自慢
茨城県内自然観察施設
県民の森 熱帯植物館 鳥獣センター

茨城県立植物園は那珂市戸にある。施設内には、県民の森、鳥獣センター、熱帯植物館、カルチャセンターがある。とにかく広い。四季の感動を体験・体感しながら憩い・学ぶことが出来る。

植物の知識が学べる憩いの場として昭和五六年に開園。約六百種、約五万本の植物が四季折々に訪れる人たちの目を楽しませてくれます。

噴水のある美しい沈床園、回遊庭園の岩石園、色々な動物をかたどった植物造形園、たくさんの種類を集めたカエデ園、バラ園、ボタン園ツバキ園などがあります。気軽に休める広々とした芝生広場も人気です。園内にお店がありませんから、飲食物はあらかじめ用意して、歩きやすい服装ででかけて下さい。一日中見歩いても見切れないぐらい広いです。

この植物園は各種分野に分かれています。

熱帯植物館は普段見られない珍らしい植物が見られて面白いです。東南アジアの熱帯亜熱帯に生息する植物約二四〇種、約二万三千本を集め、四季を通して観察し学習できる施設です。

きのこ博士館、きのこや山菜、うるし、竹などの種類や生態、人との係わり、森林の役割までを楽しみながら学べます。幻想的雰囲気が楽しめる八つの展示室があります。

県民の森、緑を通してふれあいを広めていただくために昭和四三年に作られ、アカマツの自然林の中を散策でき四季折々の草花や小鳥のさえずりを楽しめます。

森のカルチャーセンター、木の素晴らしさを理解していただき、木造建築物の普及促進を図るための施設です。

鳥獣センター、傷ついたり弱ったりしている野生の鳥や動物を保護し、手当てをして元気にして自然に帰すことを目的にした施設です。

園内ではいろいろなイベントを実施しています。パンフレットをもらって確認してから出かけるといいです。料金大人三百円、七〇歳以上と子供無料。月曜日休園。

TEL 029・295・2515

記事 養田久子

茨城県民の森

アンテナ通信

↑写真 熱帯植物園外観と茨城県民の森

支部総会のお知らせ

第二九回支部総会は来る八月二九日（土曜日）「笠間ホテル・イオアルフェラッツ」にて開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

ご意見ご要望連絡先

校友会活動等に関するご要望が御座いましたらご提案下さい。大歓迎です、また、友人、知人が居りましたら支部長礒崎迄で連絡下さい。

TEL〇二九（二七四）〇七六三
郵便 三一二―〇〇三二
住所 ひたちなか市津田二九五七番地

桜友役員紹介

平成二五年八月より役員を担当させて頂いております。皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

顧問 赤津 博
〃 白土 昌夫
〃 岡野 和多利
支部長 礒崎 強
副支部長 薄田 美智子
〃 大和田 勉
幹事長 井上 洋
幹事 山田 陽児
〃 養田 久子
〃 桜井 千春
会計監事 小松崎 孝光
〃 菅原 邦介

編集後記

皆様に会報「茨城桜友」第一五号をお届けします。会報は茨城桜友、活動の鏡です、これからも継続発行と内容の充実を図って参りたいと存じます。紙面編集企画、構成、スタイルを検討中です。パソコンの得意の方がおられましたらご指導ご協力頂ければ幸です。ご意見ご寄稿をお待ちしてます。

皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申しあげます。

編集委員 井上洋 養田久子 礒崎強 桜井千春 々々